

「本のまち 明石」の取り組みについて

平成 27 年度に、トリプルスリーの目標の一つとして「本の貸出冊数年間 300 万冊」を掲げ、いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届く「本のまち 明石」の実現に向けたさまざまな施策を、昨年 1 月以降、あかし市民図書館を核にして、学校や民間企業等とともに展開してきました。

その結果、平成 29 年度末で貸出冊数が年間 292 万冊となり、着実に成果へと結びついています。

今年度は、学校司書の配置拡大、新たな移動図書館車の導入、「ブックセカンド」などの新たな取り組みを進める一方で、今後、小・中学生の読書活動をさらに推進するため、学校司書の全校配置やビブリオバトルの導入などに引き続き取り組みます。

1 小・中学校での取組状況

(1) 学校司書の活用

(現在の取り組み)

学校司書 8 名を 24 校に配置 (2017 年度 : 3 名を 8 校に配置) し、司書教諭の指示の下、以下の取り組みを実施。

- ・ 学校図書館の環境整備 (蔵書構成を考慮した選書・廃棄・整理、修理等)
- ・ 本の紹介、相談対応、検索と提供 (児童・生徒の知的好奇心を刺激)
- ・ 授業での学校図書館の活用促進
- ・ 読書意欲を高めるための取り組み (読み聞かせ、ブックトーク、本の福袋、学校行事に合わせた本の展示 等)
- ・ 図書委員会への指導支援 等

(今後の予定)

学校司書の配置を全小中学校に拡大 (2019 年度 : 14 名を全 41 校に配置 (1 人 3 校担当)) し、これまでの取り組みに加え、以下の取り組みを実施。

- ・ 図書室の本を気軽に手に取ることができるよう、学級へ貸し出し、教室に設置。また、当該図書の学級間での巡回。
- ・ ビブリオバトルの実施支援 (本の紹介、本の魅力を伝える取り組みなど) 等

(2) ビブリオバトルの実施に向けた新たな取り組み

(ビブリオバトルとは)

- ① 各々が薦める本の良さを口頭で紹介
- ② 質疑応答
- ③ 聴衆が読みたくなった本を投票
- ④ 最多得票の本を決定 する取り組み。

この取り組みは、学力を支える読解力だけでなく、他者の考えを理解する力、自分の考えを伝える表現力が養われることから、「主体的・対話的な深い学び」につながる活動と考えられる。

(現在の取り組み)

学校での主体的な教育活動となるよう、国語科の担当者会が中心となり、実施方法等を協議。

(今後の予定)

- ・ 継続的な活動とするため、本市教育課程の中に位置付ける。
- ・ 中学校 3 年生の国語の教科書でビブリオバトルが取り上げられたことや、研究指定を受け魚住東中学校でビブリオバトルを実施したことから、中学校から重点的に取り組む。
- ・ ビブリオバトルの実施に向け、学校司書による支援 (本の紹介、本の魅力を伝える取り組みなど) を行う。

(スケジュール案)

	中学校	小学校
2018年度	・教科担当者会等で、魚住東中学校の成果をもとに実施方法等を協議。	・読書活動が活発な学校(王子小学校)と協議し、ビブリオバトルの効果等について説明
2019年度	・全校での実施を目指す(取り組む学年は各校で決定)。	・モデル校(王子小学校)で、授業や特別活動等の中で取り組む。 ・教科担当者会等で、モデル校での取り組みをもとに実施方法等を協議。
2020年度～	・引き続き全校で実施	・全校での実施を目指す(取り組む学年は各校で決定)。

※ 今後、各校での取組状況に応じて、ビブリオバトルの規模拡大を検討する。

2 図書館等での取組状況

(1) 移動図書館車の拡充(2018年7月～)

- ・2018年6月末まで：移動図書館車1台 市内35か所のステーションを巡回
- ・2018年7月から：移動図書館車2台 市内77か所のステーションを巡回
※県下初となる、大型車と小型車の2台体制。これまで大型車が行けなかった場所や、入院等で図書館に行けなかった人のところまで巡回エリアを拡大し、市内のすみずみまで本を届ける環境を整備。

(2) 「ブックスタート」の実施(2017年2月～)

4か月健診受診者とその保護者に絵本をプレゼントし、図書館職員等による読み聞かせを実施。

2016年度	2017年度	2018年度 (2018.10末現在)
7回(527組)	31回(2,623組)	33回(1,532組)

(3) 「ブックセカンド」の実施(2018年5月～)

3歳6か月児健診受診者とその保護者に絵本をプレゼントし、図書館職員等による絵本や読み聞かせに関するアドバイス等を実施。

[実績] 2018年10月末現在

実施回数	絵本配付数
18回	1,217組

(4) あかし保育絵本土の認定(2018年7月～)

明石市内の幼稚園教諭・保育士を対象とし、絵本を通した子どもの成長や関わり方についての講座を全7回実施。

受講者を明石オリジナルの資格である「あかし保育絵本土」に認定。現在25名が受講。

(5) 放課後ブックサークルの実施(2017年度～)

図書館から放課後児童クラブに本(1クラブ50～60冊)を貸し出し、1か月ごとに巡回。昨年度はモデル的に10クラブで実施し、今年度は全28クラブに拡大。

(6) 子どもに伝えたい「本」感動大賞の実施(2013年度～)

「読書感想画」やオリジナルの「本の帯」の募集を2013年度より毎年実施。年々応募件数が増加し、今年度は合計3,347件。

3 あかし市民図書館と学校・民間企業等との連携

(1) あかし市民図書館・西部図書館への見学受け入れ（2016年1月～）

学校園等の希望に応じ、館内やバックヤードの見学、カウンター体験、読み聞かせ、本の貸出などを実施。

2016年度	2017年度	2018年度 (2018.10末現在)
6組 (417人)	32組 (1,564人)	11組 (509人)

(2) ジュンク堂書店への蔵書検索機の導入（2017年5月～）

明石駅南再開発ビル内にあるジュンク堂書店で、あかし市民図書館の蔵書検索が行えるインターネット検索機を導入。

(3) 予約書籍ベスト5の紹介（2017年5月～）

ジュンク堂書店に設置しているインターネット検索機で、あかし市民図書館での予約待ちとなっている書籍上位5タイトルを紹介。

(4) 本市の施策とコラボした図書の展示（2017年7月～）

更生支援や里親制度、動物愛護週間など、本市施策に関するイベント実施等に合わせて、関連する書籍をあかし市民図書館の研修室で展示。

(参考) 図書館等での貸出冊数の推移

	2016年度	2017年度
公立図書館（小計）	1,675,361	2,479,577
本館	793,893	1,627,314
西部館	774,416	766,401
移動図書館	107,052	85,862
その他（小計）	427,912	444,809
子ども図書館みなくる	44,449	—
こども図書室	5,073	22,030
市立小図書館(養護含む)	346,053	377,533
市立中図書館(明商含む)	32,337	40,446
児童クラブ		4,800
合計	2,103,273	2,924,386